

私たちの
名張

どんな街をつくっていく？

—すみよい名張をめざす懇談会 1月の案内—

と き **1月26日(金)** 午後1時～3時

ところ **武道交流館 いきいき・まちづくり活動室**

て—ま “出前トーク”『これからのまちづくり、地域づくり——名張市地域協議会の現状と課題』



今回は、名張市の出前トークをお願いしました。行政の側からのお話を聞かせてもらいます。

どなたでもお気軽にお出でください。お待ちしております。(会場費等のため100円ご用意ください。)

12月例会では

① 「どうなっていく介護保険制度、名張では？」

家族が、介護保険で施設を利用している現状、施設側のヘルパーさんの状況などが出された。介護される人も介護する人も介護施設も大変。だれもがどんな状態になっても、人間としての尊厳を保障するのが、介護保険制度の目的だが、国は高齢化社会を理由に介護認定の基準を変え、要支援者のサービスを施設から地域へと移そうとしている。H30年4月から本格実施になるが、地域での受け皿には限界がある。

名張市は議会で「今は地域まちづくり協議会に要支援サービスを無理に押し付けない」と答弁しているが、これからは、住民が介護サービスを受けたい時、介護保険認定ではなくチェックリストで済ませ、地域のサロンや生活支援事業にまわしてくる可能性がある。当事者にとって、必要なサービスが充分受けられない事態が起きるのではないか。介護保険申請をすれば、有資格者による介護サービスを受けられるのに、要支援者をそちらに導かない介護保険給付の抑制が、行政によって行われるのではないか。

② 「広報なばり」では、28年度は黒字決算。 財政状況が判断できる内側をもっと知りたい」

歳出合計 264億7151万円。その18.5%を占める人件費。《28年度》
財政が厳しいから、議員も減らせ、職員も減らせという声も聞こえてきますが、

H17年度	H27年度	28年度
926人	855人	842人

10年間で保育士さん58人を含め職員数110人を削減。保育の民営化、給食の民間委託、業務のアウトソーシング化等が進んだ。

消防105人→115人、病院190→245人など2部門では増員。

※住民の暮らしにとって何が必要か、財政難を理由に自治体の本来の役割を忘れてはならない。

※地域の「まちづくり地域協議会」へは互助、共助で次々に仕事が回ってくるとよく聞かすが、市は、どんな予算措置をして、どんな使い方がされているのか。